

認定NPO法人底上げ 2024 年度活動報告書

SOKOAGE ACTIVITY REPORT



contents

- 2 理事長挨拶
- 3 メンバー紹介
- 4-5 若者エンパワメント
- 6 気仙沼の教育・人材育成支援
- 7 その他の事業
- 8 底上げニュース
- 9 収支報告
- 10-11 対談「NPO 法人底上げの東北ウェルビーイングラジオ全員編！」
- 12 認定 NPO 法人底上げについて

理事長挨拶

2024 年度も、気仙沼での事業をはじめ、福島県楡葉町での「ならはこどものあそびば」の運営、さらに「SOKOAGE CAMP」や「東北ターン Lab.」など、多岐にわたる事業を展開することができました。

ご支援、応援いただきましたみなさま、ありがとうございました。

AI の急速な進展、膨大な情報が交錯する現代社会において、私たち「底上げ」の存在意義とは何か——。

改めて、そんな問いをぐるぐる考える一年でもありました。

気仙沼での事業も、楡葉町でのあそびばづくりも、CAMP や Lab の立ち上げも、始まりにはいつも「このままの社会で本当に良いのか？」という「問い」がありました。

激しく変化し続ける社会のなかで、私たちはこれからも事業を通じて問うていきたい。そう強く思っています。

2024 年度、汗と涙の活動報告どうぞご覧ください。

矢部寛明



MEMBERS

メンバー紹介

- 01 自己紹介
- 02 最近起きた想定外
- 03 最近向き合ってる問い

矢部寛明 Hiroaki Yabe

- 01 底上げに底上げされた男。グッジョブ！
- 02 山形に行く高速道路が通行止めで予定が大幅にずれ込んだ！
- 03 矢部がより人様の役に立つ事は何か・そのために手放す事は何か

成宮崇史 Takafumi Narumiya

- 01 シンカを遂げたい、進・深・新
- 02 自分の中にあるものを言語化することが楽しい！意外！
- 03 地域の中における人間関係の分水嶺とは？



日野涼音 Ryo Hino

- 01 魔女修行、アボカドの種から目が出てきたのを必死に育てています。
- 02 車のエアコンが効かない 車に難ありな人生です。
- 03 私は、これからの数年どう生きていきたい？！

横山沙織 Saori Yokoyama

- 01 オフラインを大事にしたいと思いながら続けるリモート勤務。
- 02 地元の仙台ですら人が多いな〜と感じる様になってしまいました。
- 03 次に始めることはなんだろう。と、夜中に食べても罪悪感のないおやつとは

齊藤祐輔 Yusuke Saito

- 01 山ノボルノボル詐欺を続け早一年。今夏、登るよ。
- 02 ベランダに出しっぱなしにしてたハンガーが全部カラスに回収されてた！
- 03 次の 10 年、若者の人生にどう関わっていくのか？

ならはこどものあそびば

福島県双葉郡楡葉町の旧商店をお借りして、2022 年度より、創作活動のできる遊び場兼居場所「ならはこどものあそびば」を行っています。2024 年度は週 3 回のペースで場を開き、こどもたちが延べ 910 名来てくれました。今年度は、創作活動からごっこあそびなど、つくることだけではなく、友達同士関係性を紡ぎながら遊んでいる姿が印象的でした。大学生インターンも半年間が 1 名、1 ヶ月間が 2 名きてくれ、あそびばの近隣住民との関係性づくりを積極的に行なってくれました。地域の人たちの力もお借りしながら新しい風が吹いた 1 年でした。



原田夏葵
Natsuki Harada
東北芸術工科大学 4 年

2024 年 4 月から約半年間、あそびばでインターンをさせていただきました。インターンに参加したきっかけは、私の大学の先輩であるよりよさんが、大切にしている「ありのままの私を大切にできる」という言葉に深く共感したことでした。こどもたちの自由で豊かな発想に何度も驚かされる中で、私も「これをしたらどうなるんだろう？」という好奇心や、思いついたらまずやってみる姿勢を持つようになりました。地域の方から「子どもたちの楽しそうな声が聞こえると、こっちも楽しくなる」と話していただき、あそびばが地域にとっても大切な場所になっていることを実感しました。



遠藤明日香
Asuka Endo
保護者

学校帰りにあそびばに行くのを楽しみにしています。家ではなかなかできない遊びを自由にやらせてもらっているのがとても楽しいようです。年上のお友達とも仲良くなり今度一緒に遊ぼうねなどと約束をしてくるようにもなりました。あそびばに通って子どもの成長も感じられます。子どもたちが集まって自由に遊べる場所をつくっていただきありがとうございます。



東北ターン Lab.

東北に縁のある若者が出会い、学びを深めるプログラム「東北ターン Lab.」は、第 5 期、第 6 期を開催し、おかげさまで過去からの参加者の合計が延べ 100 名を超える規模にまで成長しました。キックオフ合宿での交流に加え、オンラインゼミでは多様なテーマについて深く学び合いました。特に今年度は、これまでの運営メンバーに加え、過去の参加者などが主体となってゼミを開講するケースが増え、ゼミの数は従来の 3 つから 6 つへと増加しました。これにより、「家族」「人間観」「地域コーディネーター」など、より多様なテーマでの学びが実現し、幅広い選択肢を提供することができました。引き続き、東北に関わる若者が学び合うコミュニティの構築を進め、地域の活動や団体へ還元する取り組みに挑戦していきます。



中島瑠花
Ruka Nakajima
山形大学 3 年

成果を出すことが求められる現代社会の中で、東北ターン Lab. はある種の異世界の様な場所かもしれません。素の自分を見せてもいいと思える、そんな不思議な場所です。いつかここで過ごした時間を振り返ったときに「東北って、ターン Lab. って、なんかいいなあ」と思えるであろう未来に今からワクワクです。

SOKOAGE CAMP

SOKOAGE CAMP は大学生や若手社会人を対象として、対話やワークショップにより自身の内省を進めるとともに自己理解と他者理解を深める合宿を運営してきました。2021 年から複数の地域での開催をはじめ、高校生から社会人までを対象としたものや短期間での合宿も実施し参加できる幅を増やしています。現在までに 37 回、約 400 名の若者が参加してくれています。2024 年度は SOKOAGE CAMP の作り直しを行いました。事業の実践における学びとコロナ禍の経験を経て、私たちは参加者自身が内省を深めることに加え、他者や社会とつながり、良い関係を築いていく重要性に焦点をあて「私と他者と世界が持続的に良い状態であるために」をコンセプトとしてプログラムとして再出発をしています。



2025 年 3 月には「いまかんがえる福島とわたし」というツアーを実施しました。福島県双葉郡にてフィールドワークを行い、まちづくりやエネルギー、環境といったテーマにおいて、自身と社会の良い繋がり方について対話を重ねました。ツアーの最終日には、参加者から「また楡葉町にきたい」、「地域やエネルギーについてさらに学びを深めたい」といった声が聞かれ、SOKOAGE CAMP の新しい形が地域や社会とわたしを繋ぐ手段になりうると実感を得ました。



楽しいよ



ならはこどものあそびば
Instagram

公益社団法人ハタチ基金の助成を受けて活動しています。

気仙沼教育事業

気仙沼市役所、気仙沼市教育委員会、一般社団法人まるオフィス、合同会社 colere と協働しながら、市内の小中高生の探究的な学びの場作りや実践の伴走、それを促進する環境の整備などを行っています。ありがたく 2024 年度も色々なプログラムに関わらせていただきましたが、中でも中学生有志に向けて実施しているプロジェクト探究部の最終発表会「気仙沼市中学校プロジェクト探究フェスタ」がとても感動的でした！数ヶ月かけて自分の探究テーマと向き合ってきた中学生一人ひとりの成長と変容、それを深く感じ取ることができる貴重な時間となりました。年代問わず一生懸命チャレンジする姿は本当に輝いてる！



気仙沼まち大学運営協議会

会員制シェアスペース「□ ship (スクエアシップ)」を中心に、学びの場づくり、繋がり創出、起業支援やプロジェクト伴走を通して、気仙沼市が目指す「学び・対話・協働・共創による市民が主役のまちづくり」の実現に向け活動しています。ニュースでも書かせていただいた「気仙沼まちづくり年表」も印象的だったのですが、市民一人ひとりが先生となって 1 日に約 30 講座を展開する「聞いてけらい 来てけらい おらいの学び」や、どの地域にも共通する課題・問題に向き合う学びの場「社会課題研究所 シャカケン！」など、これまでの繋がりを生かしながら場を創ることができとても充実していました。2025 年度はしっかりとアップデートして継続することを意識していきたいと思っています。



MY LIV PROJECT

JTB と底上げ他 10 法人との協働企画、「MY LIV PROJECT ～私の Well-being に出逢う旅～」。このプロジェクトは、修学旅行などの教育旅行を通じて中高生が多様な価値観に出逢い、自分の価値観や生き方を見出し、未来の可能性を拡げていく機会を創出する取り組みです。観光地に行くという既存の教育旅行とは異なり、人に会いに行くのが特徴のひとつです。本年度は広島県舟入高校の生徒 35 名を対象に石巻、檜葉町にてアテンドを実施しました。檜葉町では、町内を案内後、あそびばを見学、スタッフ日野との対話会を開催しました。日野から高校生への問いは「あなたは何を大切に生きていきたいですか？」でした。



伴走者合宿 in 気仙沼

6 月 8 日から 2 日間、東北各地域から参加者を募り、東北伴走者合宿が気仙沼にて開催されました。底上げからは成宮と横山が企画チームに参画し「わたしたちからはじめる未来」をコンセプトに「学び・対話・交流」を目的とした時間をつくりました。初参加 6 割！ということで、古参から若手まで幅広い伴走者が集まり交流を深めました。またこの合宿を期に東北伴走コミュニティ Slack が誕生！合宿以外でも情報交換が進んでいます。



伴走者合宿ヤング

10 月に山形県大江町で伴走者合宿ヤング!!! を開催しました！東北の各地から同じく頑張る仲間たちが集まり、それぞれの活動を進める上での悩みや相談をし合っている姿が印象的でした。日々の活動のこと、自分自身の人生のことなど、夜通したくさんの話が交わされ、少しの日々の息抜きになっていたかなと思います。それぞれ頑張る仲間がいることに感謝です！



なっつん卒業展示

ならはこどものあそびばにインターンしながら卒業研究をしていたなっつんこと原田夏葵。2025年2月に行われた東北芸術工科大学の卒業展示にて、集大成となる卒業展示を完成させておりました！研究テーマは「地域住民とこどもが心地よくつながる居場所の研究」外に図書スペースをつくってみたり、あそびば通信を1軒1軒配布したりなど、地域の方との関わりしろをつくってくれました。彼女が繋いだ地域の方との縁を大切にしながら活動に繋げていきます！



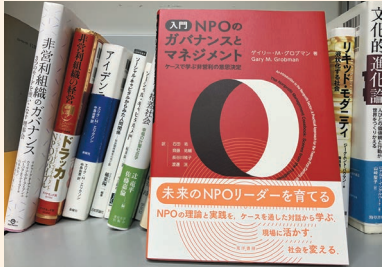
ならは押入れリニューアル！

ならはこどものあそびばの押し入れをNPO法人かざっこPROJECTさんにプチリフォームしてもらいました！可愛い色に塗り直し、壁は書いても消せるようにホワイトボード仕様に...！秘密基地感が増して子どもたちが押し入れで過ごす時間が増え、遊びの幅が広がっています。本当に可愛くしていただいてありがとうございましたー！



気仙沼まちづくり年表

僕たちが気仙沼で実際見て触れてきたまちづくりの活動は全て震災後に生まれ立ち上がってきたものです。だけど、まちづくりは決して点で生まれるものではなく、気仙沼の中でこれまで脈々と継がれてきた様々な思いや実践の上に成り立っているものです。今回作成した「気仙沼まちづくり年表」はその系譜を明らかにし可視化していこうと生まれたプロジェクト。市内様々な団体、機関、個人の方にご協力いただき壮大な年表を作成することができました！感無量です！



齊藤、翻訳本『NPOのマネジメントとガバナンス入門』出版！

大学院時代の恩師に誘われ、NPOの仲間たちと翻訳本を出版しました！マネジメントとガバナンス…底上げと全く縁遠い話かとおもってみたら、意外や意外。経験してきたことが紐づいたり、新たな学びがあったり。法人設立から13年、こんなプロジェクトに関わることになるとは…とても良い機会になりました！



タイに行ってきました

まるオフィスの加藤拓馬さんと息子、気仙沼出身で底上げ理事のあいり、そして矢部と息子とで経済発展ど真ん中のタイへいってきました。加藤くんは震災直後ともに気仙沼に入った仲。（なんと卒業した大学も学部も同じ！）あいりは学習支援に参加したのをきっかけに今でもこうして繋がりを持っています。14年の時を経て、こんなメンバーでタイに行くことになるとは・・・！スラムを見学したり、ゾウに乗ったり、辛いものを食べたり。気仙沼ではできないことをたくさん経験してきました。



年末恒例！底上げマラソン

年末恒例？岩手県宮古市から沿岸部をたすきリレーする底上げマラソン！今回のゴールは我らがホームタウン気仙沼。参加者は東北のみならず東京や大阪から14名が参加。2年ぶりの開催ということで気合の入ったメンバー。天気にも恵まれ無事に駆け抜けた二日間でした！2025年も年末に開催します！

令和6年度貸借対照表(令和7年3月31日現在)

※単位：円

科目	金額		
I 資産の部			
1.流動資産			
現金預金	44,477,265		
前渡金	204,112		
未収入金	411,000		
流動資産合計		45,092,377	
2.固定資産			
(1)有形固定資産			
有形固定資産計	0		
(2)無形固定資産			
無形固定資産計	0		
(3)投資その他の資産			
投資その他の資産計	0		
固定資産合計		0	
資産合計			45,092,377
II 負債の部			
1.流動負債			
未払金	1,404,232		
未払法人税等	72,000		
預り金	136,452		
流動負債合計		1,612,684	
2.固定負債			
固定負債合計	0		
負債合計			1,612,684
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		42,297,070	
当期正味財産増減額		1,182,623	
正味財産合計			43,479,693
負債及び正味財産合計			45,092,377

そこそこ団について

NPO 法人底上げ賛助会員をそこそこ団と名称しています。
そこそこ団の年会費は賛助会員費に当たり、寄付控除の対象となります。

入団者の4つのワクワク

- 1 年次活動報告書の送付
- 2 秘密の facebook グループに入れる
- 3 限定イベントに参加できる
- 4 底上げと楽しいしちゃう！？

賛助会員年会費

- 個人会員 12,000 円／年
- 法人会員 50,000 円／年

ご入金はクレジットカードまたは
ゆうちょ銀行への振込みが可能です。
詳しくは裏表紙の「ご寄付について」欄
をご確認ください。

令和6年度活動計算書(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

※単位：円

科目	特定非営利活動に係る事業	その他の事業	合計
I 経常収益			
1.受取会費			
正会員受取会費	93,000		93,000
賛助会員受取会費	537,291		537,291
2.受取寄附金			
受取寄附金	8,010,869		8,010,869
3.受取助成金等			
受取民間助成金	4,128,340		4,128,340
4.事業収益			
若者のエンパワメント事業	2,167,290		2,167,290
人づくりを通じた気仙沼のまちづくりに関する事業	4,670,256		4,670,256
組織・プロジェクトの企画相談事業	544,200		544,200
その他の目的を達成する為に必要な事業	0		0
物品の制作・斡旋及び販売事業		0	0
5.その他収益			
受取利息	16,557	0	16,557
経常収益計	20,167,803	0	20,167,803
II 経常費用			
1.事業費			
(1)人件費			
役員報酬	5,130,000	0	5,130,000
給料手当	4,914,000	0	4,914,000
人件費計	10,044,000	0	10,044,000
(2)その他経費			
法定福利費	1,428,318	0	1,428,318
業務委託支出	295,000	0	295,000
謝金支出	468,000	0	468,000
印刷製本費	104,822	0	104,822
会議費	211,917	0	211,917
交際費	4,453	0	4,453
旅費交通費	1,278,403	0	1,278,403
通信運搬費	362,505	0	362,505
消耗品費	154,526	0	154,526
修繕費	115,000	0	115,000
水道光熱費	20,952	0	20,952
地代家賃	444,000	0	444,000
保険料	10,060	0	10,060
租税公課	600	0	600
研修費	98,905	0	98,905
支払手数料	147,797	0	147,797
新聞図書費	28,380	0	28,380
広告宣伝費	524,619	0	524,619
その他経費計	5,698,257	0	5,698,257
事業費計	15,742,257	0	15,742,257
2.管理費			
(1)人件費			
役員報酬	570,000	0	570,000
給料手当	546,000	0	546,000
人件費計	1,116,000	0	1,116,000
(2)その他経費			
法定福利費	158,701	0	158,701
福利厚生費	14,398	0	14,398
業務委託支出	198,000	0	198,000
印刷製本費	55,047	0	55,047
会議費	800	0	800
旅費交通費	5,775	0	5,775
通信運搬費	894,142	0	894,142
消耗品費	13,276	0	13,276
租税公課	600	0	600
支払手数料	578,830	0	578,830
広告宣伝費	132,820	0	132,820
その他経費計	2,052,389	0	2,052,389
管理費計	3,168,389	0	3,168,389
経常費用計	18,910,646	0	18,910,646
当期経常増減額	1,257,157	0	1,257,157
III 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
IV 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
税引前当期正味財産増減額	1,257,157	0	1,257,157
法人税、住民税及び事業税	2,534	72,000	74,534
当期正味財産増減額	1,254,623	-72,000	1,182,623
前期繰越正味財産額			42,297,070
次期繰越正味財産額			43,479,693

最近どう？

NPO 法人底上げの 東北ウェルビーイングラジオ全員編！

矢部寛明 (以下ひろ) さて始めました。NPO 法人底上げの東北ウェルビーイングラジオー！ 5 人全員が集まるのは昨年以來、今年初めてですよ？最近どう？

齊藤祐輔 (以下ゆっけ) そうだね、本当に久しぶり。僕は今、博士論文の執筆が大詰めを迎えているところです。

ひろ 博士論文、いわゆる「博論」ってやつだね。ゆっけ そう、「現代における若者のアイデンティティの形成」をテーマにしている、いま半分くらい書けたかな。時間を見つけて執筆に没頭してるね〜。東日本大震災をきっかけに「豊かさ」への関心を持ったことが、底上げでの活動や旅、大学院と自身のフィールドを広げてきた感じがするね。

ひろ 論文執筆で ChatGPT などの AI は活用するの？

ゆっけ 視点を得たり、叩き台を作ったり、情報を分かりやすく表に整理したりと、効率性を高めるために活用してるね。ただ、自分が何を書きたかったのかを忘れないようにしてる。

ひろ なるほど。今後の展望としては、論文が社会にどんな影響を与えることを期待してる？

ゆっけ 一番は、休学や休職といった「何もして

ない期間」が、社会的にネガティブに捉えられがちな現状に一石を投じたいなと思ってる。僕は、「余白」の期間が個人の個性形成にとって重要であると思っていて、ギャップイヤーやリカレント教育がもっとポジティブに認知されるような意識の変化を作りたい。海外ではみられるこうした考え方が、日本では「社会のルールから外れた」と表現されがちな現状に、何らかの形で貢献したいですね。

ひろ ゆっけの話を受けて、僕は今、「どう暮らすか」「家をどう建てるのか」という問題意識に情熱を傾けています。

横山沙織 (以下ひめ) 家をどう建てるのか？

ひろ 最近、ログハウスを 30 年前に自作した人の話を聞いて、すごく感銘を受けたんだよね。僕は、家を建てるという行為を「誰かに任せる」ことで、人が「そこにあるはずの幸せを奪われているのではないか」と感じていて。自分で家を建てることで得られる愛着や、子どもへの教育的な学びもあるのではと感じているかな。

日野涼音 (以下りよりよ) 今の家もリフォームを通じて愛着がありますもんね。

ひろ そう。ただ、今の家は「寒い」という欠点

があるので、次の家は「あったかい家」にしたよね〜。実は妻も「家、建てた方がいいかも」と言い始めてくれて (笑)、僕の熱意がようやく実を結びつつあります。

成宮崇史 (以下なる) すごい！笑

ひろ 今後の展望として、2、3 年後には家族のために、暖かく、自分たちで作った家を建てることを目指してるかな。活動拠点としては引き続き東北のイメージかな。

なる 僕は今、インプットよりもアウトプットの時期だと捉えているかな。これまでの経験や培ってきた対話・デザインなどの技術を、自分の自治会とか地縁のコミュニティで活用して、貢献することを目指してる。今年でできればやりたい目標の一つとして、自分の活動を通して地域内のロールモデルとなるような事例を作り出すことがあるかな。

ひろ なるは昔から、地域の人はどう受け入れられるかをすごく考えてたよね。

なる そうだね。以前は近所付き合いが希薄だったという反省もありつつ、今は「身近な関係性やコミュニティにも意識が広がっている」と感じていて、自治会の方からの相談もあった

りすると嬉しい。地域コミュニティでは、発言した人が動かないといけいない、みたいな空気感があってそもそも発言自体のハードルがみんなの中にはあるんだけど、僕自身が「まずは受け止める」姿勢を大切にしながら、対話的な雰囲気浸透させていきたいと考えてる。そういうところからステップを踏んでシステム自体を変革していけるか考えるのは楽しいよね。

ゆっけ 地域に入るとき「原理原則を理解し、尊重する」というなるの姿勢は、すごく重要だよな。

なる そうだね。いきなり変化を求めるのではなくて、まずその地域やコミュニティで生まれてきた流れや背景を最大限に理解し、尊重する姿勢が重要だと思って。昨年は意図的に外に目を向けるより、「気仙沼」というまちにとにかく深く入り込むことを意識して活動してきたね。

ひろ 気仙沼まち大学運営協議会での「気仙沼まちづくり年表」作成もその一環だね。

なる そうだね。今後の展望として、これまで色々なことを学んだり培ってきたので、今年度いっぱい地域内でのアウトプットに注力し、具体的な事例を作ることが目標。来年度以降は、再びインプットの期間になるかもしれないけど、

2024 年 1 月から「最近どう？ NPO 法人底上げの東北ウェルビーイングラジオ」という音声配信を行なっています。今回は久しぶりにメンバー 5 人で集まり、それぞれの最近どう？について語り、対談形式でまとめました。ラジオの方はゲストをお招きしたりしながら、楽しく更新していますのでぜひ覗いてみてください！



Tohoku Well-being Radio



探究心と好奇心は何かしらに対して今後も変わらず持ち続けるだろうと。また最近は、活動の効率性を高めることにも意欲的で、2 時間かかる作業をどう 1 時間で集中して終わらせるか、とか、時間との向き合い方を考えてる。もう少ししたら、子どもの成長に合わせて、朝早く起きて活動するなど、活動時間自体も工夫していきたい。

ひめ 私はこの半年間が非常に忙しかったんだけど、最近ようやく落ち着いてきた。来週は 1 日休みを取って、一人で日帰り東京旅行を計画中。4 ヶ月近く行けていなかった美術館 (特にミロ展) に行きたい！笑。アートに触れ、日常の中に「没入する時間」を作ることが、私にとって大切なリフレッシュなんだなと思ってる。

ひろ 仕事も子育ても忙しいから、そういう時間が必要だよな。

なる 二、三年後はどんな感じかな？子どもの教育環境とか考える？

ひめ そうね〜。子どもが次は小学生！中学受験の話も聞くけど、先を見越して考えたときに、どういう環境がいいのかなみたいなのは結構考

える。気仙沼だと学校の中に地域で学ぶプログラムがある事とか自然に触れられるのがいいよね。非認知能力とか探究力って何か面白いなと思ったものに熱中できる時間があって、それを許してくれる環境があることがすごい大事だなと思ってるよ。

りよりよ 私は社会人 4 年目になったのですが、あまり実感がないというのが正直な気持ちです。活動も生活も、ようやく土台が整ってきたな〜という感じです。

ひろ 今、檜葉町で「ならはこどものあそびば」の活動が軌道に乗った感あるよね。

りよりよ う〜ん。ただ、活動の「土台」ができてきたなと感じる一方で、次の展開をどうしているかと悩んでいて、「私の人生の軸をどこに置くべきか」迷ってます。自分の人生、檜葉の子どもたち、東北、出身の山形など、今すで

に多くの「軸」があって、檜葉での活動を継続することはできそうですが、どう発展させていくんだろう、場所を移す場合に活動をどうするかといったいろんな葛藤が生まれ始めましたね。

ひめ 前は海外とかいろんなところに住んでみた

という気持ちもあったんだよね？
りよりよ そうなんですよ〜。でもどうなんだろう、昨年あたりからその気持ちが変わってきて、「次の行き先は山形かな」と思うようになりました。親戚が近くにいることや、地域の文化がやっぱり好きだなと思うようになった感じはありますね。そういえば高校生の時は〇〇になりたかったな〜とか思い返すようになってきて、私がどう進んでいくのは不安であり楽しみでもありますね。

ひろ りよりよは、計画的に未来を語るよりも、その瞬間に「これだ!」と感じたものを選ぶ「アーティストタイプ」だもんね。

りよりよ え！そうですか？！笑。でもたしかに具体的な長期的な展望を語るのは苦手ですね笑

今回の「最近どう？」特別収録では、底上げのスタッフ最近とこれからについて、一人ひとりの現在地と展望、そして少しばかりの葛藤も垣間見える機会となりました。久しぶりの全員集合に、つつい面白い方向に脱線しながらの本編はぜひ「NPO 法人底上げの東北ウェルビーイングラジオ最近どう？」をお聴きください！

ポッドキャストでは、矢部を中心にスタッフが近況についてお話ししたり、ゲストを招いて底上げのプログラムへ参加した感想をお聞きしたり、楽しく更新しております。感想、質問やリクエストテーマも大歓迎です！一緒に盛り上げてください！番組のフォローよろしく願いいたします！

NPO 法人底上げについて

所在地

〒988-0077
宮城県気仙沼市古町 2-7-117

MAIL. info@sokoage.org

WEB. <https://sokoage.org/>

運営体制 (2025 年 8 月現在)

理事長 矢部寛明

副理事長 齋藤祐輔

理事兼事務局長 成宮崇史

スタッフ 横山沙織

日野涼音

理事 喜内尚彦

阿部愛里

大谷逸稀

小野寺真希

三浦亜美

牛木力

古瀬正也

監事 山崎賢治

顧問税理士 滝澤正樹

ご寄付について

皆様からご支援頂いた寄付金は、若者のエンパワメント事業、人づくりを通じた気仙沼のまちづくりに関する事業、組織・プロジェクトの企画相談事業に使わせていただきます。

NPO 法人底上げの活動にご賛同頂ける方からの温かいご支援をお待ちしております。



各社クレジットカード、ペイジー、口座振込に対応しております。以下のリンクまたは QR コードからお申し込みをお願いいたします。

<https://bokinchan3.com/sokoage/donation/bokin/page0.php>

ふるさと納税について

気仙沼市ふるさと納税で NPO 法人底上げをご支援ください！気仙沼市へのふるさと納税で、NPO 法人底上げの活動をご支援いただけるようになりました。皆様からの寄付は、底上げの気仙沼での活動の運営・活動資金として活用され、気仙沼の地域活性化に役立てられます。皆様の温かいご支援を心よりお待ちしております。



ふるさと支援寄附の寄付ページ (1 万円)

<https://kesennuma.furusato-nozei.jp/rewards/15776>

寄付金控除について

特定非営利活動法人底上げは令和 3 年 9 月 17 日付けで、宮城県より「認定特定非営利活動法人（認定 NPO）」として認定が更新されました。これにより、引き続き頂いたご寄付は税制優遇の対象となります。

ご寄付いただきましたみなさまには当法人より、お名前、ご住所等必要事項を記した領収証を発行しております。確定申告時に申告していただくことで、税額控除ないしは所得控除を受ける事が可能になります。詳しくは最寄りの税務署にご相談いただきますよう、お願い致します。



認定NPO法人
底上げ



認定NPO法人
底上げ



SOKOAGE
CAMP



SOKOAGE
CAMP

Special Thanks 底上げにかかわる全てのみなさま
Designed by Nao Kato